豊中市

寿司！流しそうめん！たこ焼き！盆踊り！夏祭り！

被災地でのボランティア

施設職員や社会福祉協議会職員、大阪大学の学生8人を含む総勢34人が、被災した輪島市の特別養護老人ホームで「夏祭り」を開催しました。射的やわたがしなどの定番屋台に、できたてお寿司やたこ焼きを全員で楽しみ、会場は笑顔と活気にあふれました。

今後も継続的に企画・実施し、被災した方の「笑顔」と「元気」を創り出していきます。

人の心を元気にする災害ボランティア、あなたもやってみませんか？

イベントやインタビューのようすはこちら！

空高く舞いあがるドローンのようすはこちら！

太子町

空（SORA）飛ぶボランティア

ドローンボランティア

太子町のドローンボランティア「SORAYA（ソラヤ）」では、子どもたちにドローンの楽しさを伝えることを目的に体験会を開催しています。飛ばす場所や天候などの安全面に配慮が必要ですが、台風などの災害時には空撮により屋根などの被害状況の確認をすることができます。

この活動を通して、ドローンの楽しさだけでなく、災害・防災への興味ももってもらいたいと考えています。

ドローンから始まるボランティア活動、あなたも体験してみませんか？

池田市

あなたのありのままを受けとめます

傾聴ボランティア

みなさんはだれかと会話するとき、「聴く」ことをどのくらい意識していますか？

池田市の傾聴ボランティア団体「心の倉庫」では、施設への訪問やリモートでの傾聴活動を行っています。傾聴とは、相手の話をその人の立場になって、耳と心を傾けて「聴く」技術のことです。

利用者から家族や自身の過去のことなどを聴いて、その人の人生に接し、心に寄り添います。災害時には被災地に行けなくてもオンラインでつながることができます。

あなたも話を「聴く」ことで誰かの心の居場所になってみませんか？

気になるインタビュー動画はこちら！

ボランティアって？

「ちょっと気になる‥。なんかほっとけない‥。自分でもできることがあるかな？」
そんなことはないですか？
道に迷って不安そうな人、重い荷物を持った高齢者など、
ちょっとしたお手伝いができるきっかけは身近にあります。

ボランティア活動は、「自分」発の活動。趣味や特技を生かし、
誰かの役に立つ、気持ちをラクにすることができれば、それがボランティアなんです！
そして、いろいろな人との出会いやつながりができるのも、ボランティアの魅力のひとつ。

日本では、1995年の阪神・淡路大震災を機に100万人を超える人がボランティア活動に参加したことから、
この年は「ボランティア元年」と呼ばれています。
困っている人のために何かしたい！ そんな気持ちからこれだけの人が動いたってすごいと思いませんか？

今回は、今年1月に起きた能登半島地震でのボランティア活動をはじめ、
平時から災害時にもつながるボランティア活動を紹介します。

JCOM株式会社とのコラボインタビュー動画もあります！
2次元コードからぜひご覧ください。

ボランティア 体験プログラム 2024

保育園で子どもたちと一緒に遊ぶ、施設を利用している高齢者の話し相手になるなど、
ボランティアを気軽に体験してもらうためのプログラムです。
さまざまな人との出会いやつながりもでき、かけがえのない経験になります★
ボランティア体験プログラムは、各市町村にあるボランティアセンターで絶賛受付中です★

ぜひ、みなさんの参加をお待ちしています!!

詳細はコチラ
令和6年4月〜11月まで
受付中！

この広報紙の作成には共同募金助成金を活用させていただいています